



お江戸舟遊び瓦版 1118号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

第13回首都防災ウィーク 講演会「フェーズフリーパークを考える」

日時：25.8.24 10時～12時半 所：東京慰霊堂

講演：「フェーズフリーとは」佐藤唯行（フェーズフリー協会代表理事）

- ・ 世界でも有数の災害大国の日本。防災意識は高まっているが現在も災害は繰り返されている。「何をどのくらい備えればいいの?」「防災って難しい…」との声が……。大切な人を、絶対に守りたい」この想いを形にするため『フェーズフリー』を生みだしました。
- ・ 繰り返す災害に国・県・自治体で、国土強靱化実施計画が進められ、新たに「フェーズフリー対策の積極的導入」が加わり、人口減少化の社会的対応として、地方創生の取り組みと国土強靱化の一体的推進、地域コミュニティの強化、ハード・ソフト対策の推進、まちづくり計画と国土強靱化地域計画の連携強化等などが推進されることになった。
- ・ 備えることの難しさから、備えなくても良い社会づくりを！

防災 ⇄ フェーズフリー社会へ

座談会「フェーズフリーパークを考える」

進行：松崎元（千葉工大） 登壇者：佐藤唯行、黒濱綾子（内閣府、鳴門市）、室橋智（物林部長）、

佐藤瑠美（NPO birth）、大山雅也（西部造園）、小笠原明子（東京都）

黒濱：南海トラフ防災の備えが徐々にフェーズフリー化で展開して

いる。国内最大級のボルダリング設備や快適な空間で読書ができる図書スペースなどを完備した UZU HALL、UZU PARK。

ボートレースが開催される際には選手紹介式や各種イベントも。

室橋：多摩中央公園をフェーズフリーパークとして取り組み、多摩ニュータウンの中心的な公園と位置付けるとともに、災害時の広域避難場所となる公園になっている。

佐藤：国分寺市がフェーズフリーパークを進め、都下最高の人口増になっている。



国土強靱化実施中期計画

〇5か年加速化対策等の効果(初、日向灘地震等) 〇状況変化への対応(3つの変化)

(人口減少等の社会状況の変化への対応)

- 地方創生の取組と国土強靱化の一体的推進
- フェーズフリー対策の積極的導入
- 地域コミュニティの強化、ハード・ソフト対策の推進
- まちづくり計画と国土強靱化地域計画の連携強化
- 積雪寒冷地特有の課題への配慮、条件不利地域における対策強化、「半島防災・強靱化」等の推進



⑥井水の利用 発電機・手押しポンプ



おわり：憩のアワー
口笛の調べ YOKO さん



第13回首都防災ウィーク 防災フォーラム

日時：8月24日 13:00~16:30

主催者紹介：首都防災ウィーク実行委員会

(公財) 東京都慰霊協会

(公社) 全国私有物件災害共済会

NPO 法人東京いのちのポータルサイト

基調講演：中林一樹（東京都立大学名誉教授）

1. 切迫する大震災：阪神淡路大震災、東日本大震災、南海トラフ地震と巨大地震が切迫している。

2. これからの高齢社会に備えて平時にやるべきこと！

- ① 都民の過半は在宅避難“マンション防災”を
- ② 被害を軽減する事前防災の「耐震強化」を
- ③ 今こそ「災害廃棄物処理の事前復興計画」を
- ④ マンション総働の“避難生活マニュアル”

困難な避難生活とマンション共助力育成

- ⑤ 避難生活者支援の国際スフィア基準を

終わりに：耐震化・家具固定で生き延びよう！

平時の取り組みを皆で！

第一部「マンション防災を進めるために」

コーディネーター：鍵谷一（副代表）

1. 東京とどまるマンション 西平倫治（東京都マンション防災課長）

- ・ 東京都は災害時の停電でも、自宅での生活をしやすいマンションを「東京とどまるマンション」として登録・公表し、普及を図っている。耐震性・ハード対策・ソフト対策を検査し、認定している。

2. 災害時のトイレ問題＝マンション防災で最も大切なこと＝

山本耕平（日本トイレ協会理事長）

- ・ 避難所のトイレの洋式化、バリアフリー化、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の備えは貧弱。100人に一基必要。携帯トイレ備蓄が必要。
- ・ マンションで災害時のトイレのマニュアル・計画を作る。
- ・ 大地震の後、直ぐにはトイレは使えない。排水横主管が逆勾配により封鎖されている状態で、上階から流されると、下階の便器で排水が跳ねだしたり、溢れ出したりするために使えない。

第二部木造住宅耐震化を劇的に進めるために

1. 耐震改造工事低コスト化で前進している。 吉田真（葛飾区都市整備部長）

2. 災害軽減化のために木造住宅耐震補強工事を展開している。 関励介（木造住宅耐震補強協）

3. 高知県黒潮町では大震災時の犠牲者ゼロを目指し、住民と行政の連携・協力を進め、多くの大工さんの協力で目標に近づいている。住民の工事費負担縮小化が大きな要因だ。川端寛文（達人塾）

第三部 シティコン海底山脈

1. AI 動画：シティコン海底山脈（文化放送）

2. トーク「夢を現実に」 鈴木達雄（開発者）

+原香織（みらくる TV 編成部長）

- ・ 大震災時のビル倒壊ガラ・シティコンを活用し、漁業生産増に役立てたい。

所感：各地で災害頻発し、首都直下地震が迫っている。事前の備えが急務だ！（文責 中瀬）

待ったなし首都直下地震！

破局を防ぐ力を東京から

国民一人一人がなすべきこと

中林一樹首都防災ウィーク実行委員長



切迫する大震災



(1) 在宅避難で耐える“マンション防災” ～マンションは在宅避難を基本に、 居住者の自助とマンションの共助で～

マンション上ほど揺れる。しかし、水害は下からくる



自助・共助・公助の現状

- ・自助：高齢化と単身化
 - ・共助：近所のつながりの弱さと町内会・自治会の参加者減
 - ・公助：消防団員、自治体職員の減少
- ⇒自助・共助・公助の「おまじない」が効かない社会

